ハイ-キャスト 3040A エッチ・アンド・ケー株式会社

初版作成日： 2023年09月14日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ハイ-キャスト 3040A

製品番号 (SDS NO)：3040A-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：エッチ・アンド・ケー株式会社

住所：東京都台東区柳橋2-19-6

担当部署：千葉工場　研究開発部

電話番号：0478-72-2231

FAX：0478-72-2619

緊急連絡先電話：担当部署と同じ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 4

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2

環境有害性

水生環境有害性　短期(急性)：区分 2

水生環境有害性　長期(慢性)：区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語：警告

危険有害性情報

H227-可燃性液体

H315-皮膚刺激

H319-強い眼刺激

H317-アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351-発がんのおそれの疑い

H371-臓器の障害のおそれ

H373-長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H411-長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201-使用前に取扱説明書を入手すること。
P202-全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P273-環境への放出を避けること。
P210-熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261-粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P271-屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P264-取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P280-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P270-この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P370 + P378-火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
P391-漏出物を回収すること。
P321-特別な処置が必要である。
P314-気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P313-ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P311-ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P342 + P311-呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P304 + P340-吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353-皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P333 + P313-皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P305 + P351 + P338-眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313-眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
P301 + P310-飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P301 + P330 + P331-飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

P233-容器を密閉しておくこと。
P410 + P403-日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

廃棄

P501-内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ポリエーテルポリオール	9082-00-2	70	7-758
高沸点芳香族ナフサ	64742-94-5	11.5	9-1691; 9-1700; 9-1702
ゼオライト	1318-02-1	8	1-23; 1-189; 1-495; 1-508; 1-548; 9-2423
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	103-23-1	8	2-861; 2-879
ナフタレン	91-20-3	1.5	4-311
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	0.014	3-7; 3-3427
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	0.35	3-7; 3-3427
1,2,3-トリメチルベンゼン	526-73-8	0.6	3-7; 3-3427

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

高沸点芳香族ナフサ , ナフタレン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

高沸点芳香族ナフサ , ナフタレン

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) , ナフタレン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

P314-気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

P304 + P340-空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

P342 + P311-呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

P303 + P361 + P353-直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P333 + P313-皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

P305 + P351 + P338-水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313-眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

P301 + P330 + P331-口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項

P321-特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置
消火剤
適切な消火剤
P370 + P378-火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
使ってはならない消火剤
噴流水を消火に用いてはならない。
消火を行う者への勧告
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
P280A-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火活動の際は、その蒸気や分解ガス(NOx)に対する防護のため、自給式呼吸用具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
適切な保護具を着用する。
着火源を取除くとともに換気を行う。
環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
P391-漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
P261-粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
(火災・爆発の防止)
P210-熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
安全取扱注意事項
P201-使用前に取扱説明書を入手すること。
P202-全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P271-屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280A-保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
P262-眼、皮膚、衣類につけないこと。
P264-取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P362 + P364-汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管
安全な保管条件
P233-容器を密閉しておくこと。
P401-国際/国/地方の規則に従って保管すること。
P410 + P403-日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置
管理指標
管理濃度
(ナフタレン)
作業環境評価基準(2015) <= 10ppm
許容濃度
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m3
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m3
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m3
(ナフタレン)
ACGIH(2014) TWA: 10ppm
(上気道刺激; 白内障; 溶血性貧血)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)
特記事項
(ナフタレン)
皮膚吸収
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
排気/換気設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
P284M-換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 茶色
臭い : 軽度の臭い
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点 : 67℃
自然発火点データなし
分解温度データなし
pHデータなし
動粘度 : 159mPas(25℃)
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
蒸気密度データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし
その他のデータ
蒸発速度データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
イソシアネート類と反応する。
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
常温、常圧で安定。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。
混触危険物質
混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ナフタレン)
rat LD50=490-1800mg/kg (PATTY 5th, 2001)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)

rat LD50=4300-8642mg/kg (NITE 初期リスク評価書, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
female rat LD50=3280mg/kg (REACH登録情報, Accessed Aug. 2021)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ラット LD50 >5110mg/kg (SIDS)

急性毒性(経皮)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
rat LD50=4100mg/kg (EHC 20, 1982)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ウサギ LD50 >2000mg/kg (SIDS)

急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
mist: rat LC50=4800ppm/4hr (24mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2013)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
mist: rat LC50=18000mg/m3/4hr (18mg/L/4hr) (MOE 初期評価, 2009)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ラット LC50(4hr) >14 mg/L (SIDS)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
ヒト/ラビット 中等度の刺激性 (EHC 20, 1982 et al)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
ラビット (OECD TG 404)中等度から重度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
皮膚刺激性(MOE 初期評価, 2009)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ウサギ 皮膚刺激性試験 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
ラビット 中等度の刺激性 (EHC 20, 1982)
(ナフタレン)
ラビット 7日以内に回復 (ATSDR, 2003)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
眼刺激性(MOE 初期評価, 2009)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ウサギ 眼刺激性試験 刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし

皮膚感作性

[製品]
区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ナフタレン)
cat. 1; human : DFGOT vol.11, 1998
[会社固有データ]
(ゼオライト)
モルモット 皮膚感作性試験(ビューラー法) 感作性なし(SIDS)
ヒトパッチテスト感作性なし(SIDS)

生殖細胞変異原性

[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[会社固有データ]
(ゼオライト)
ラット 優性致死試験(単回/反復経口投与) : 陰性(SIDS)
ラット 染色体異常試験(経口投与) : 陰性(SIDS)
サルモネラ菌 エームス試験 : 陰性(SIDS)
変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

（ナフタレン）
発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
（ナフタレン）
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 82, 2002)
[IARC]
（ゼオライト）
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
（アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)）
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
（ナフタレン）
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
（ナフタレン）
A3(2014) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
（1,2,4-トリメチルベンゼン）
A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない
[日本産衛学会]
（ナフタレン）
第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
[EU]
（ナフタレン）
Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[会社固有データ]
（ゼオライト）
サル 2 年間吸入ばく露試験 精巣及び卵巣影響なし NOAEL＝50mg/m3（SIDS）
雄ラット 200 日間混餌投与試験 最大 1250mg/kg/day 精巣影響なし（SIDS）
妊娠ラット/マウス/ウサギ/ハムスター 混餌投与試験 発生毒性なし NOAEL＝1600mg/kg/day（SIDS）
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
（ナフタレン）
血液、眼、気道 (ACGIH 7th, 2001; DFGOT vol.11, 1998)

[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (MOE 初期評価, 2013)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (ACGIH, 2001)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (HSDB, 2008)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
麻酔作用 (MOE 初期評価, 2013)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
麻酔作用 (US AEGL, 2012 et al.)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(ナフタレン)
血液、眼、呼吸器 (EU-RAR, 2003)

誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.843 mm2/s (20℃), 0.630 mm2/s (50℃) (REACH登録情報, Accessed July 2021)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.843 mm2/s (20℃), 0.630 mm2/s (50℃) (本物質の異性体である1,3,5-トリメチルベンゼン) (GESTIS, 2021)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性
[製品]

区分 2, 水生生物に毒性
区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性
[製品データ]
データなし
[成分データ]
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(高沸点芳香族ナフサ)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50＝0.95mg/L/48hr (IUCLID, 2000)
(ナフタレン)
魚類 (ニジマス) LC50=0.77mg/L/96hr (EHC 202, 1998)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=6mg/L/48hr; 魚類 (キンギョ) LC50=12.5mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=7.72mg/L/96hr (優先評価化学物質のリスク評価, 2015)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=2.7mg/L/48hr (MOE既存点検結果, 2012)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=377.17mg/L/96hr (Aquire, 2016)
(アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル))
水溶解度(0.0032mg/L(SIDS、2002))までの濃度で急性毒性が報告されていないことから、区分に該当しないとした。
LC(96hrs) ファットヘッドミノー>0.78 mg/L
LC(96hrs) ブルーギル >0.78 mg/L
LC(48hrs) オオミジンコ 0.660 mg/L
水生環境有害性　長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=0.4mg/L/21days (SIAP, 2012)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
藻類 (ムレミカヅキモ) NOErC=0.38 mg/L/48hr (MOE既存点検結果, 2012)
[会社固有データ]
(ゼオライト)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=200mg/L/21day (Aquire, 2016)
(アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル))
良分解性があり、かつ生物蓄積性が低いことから、区分に該当しないとした。

水溶解度
(アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル))
0.00000032 g/100 ml (SIDS, 2002)
(ナフタレン)
溶けない (ICSC, 2005)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
0.005 g/100 ml (ICSC, 2001)

残留性・分解性

[成分データ]
(アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル))
急速分解性あり (BODによる分解度 : 70.7%/28 days (METI既存点検結果, 1990))
(ナフタレン)
BODによる分解度:2% (既存点検)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
急速分解性なし (BODによる分解度 : 0%/14 days (METI既存点検結果, 1980))
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
急速分解性なし (BODによる28日間分解度 : 平均8.7% (METI既存点検結果, 1980))
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
急速分解性なし (BODによる分解度 : 0%/14 days (METI既存点検結果, 1980))

生体蓄積性

[成分データ]
(アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル))
log Pow=8.1 (ICSC, 2009); BCF=27 (CERI/NITE有害性評価書(暫定版), 2006)
(ナフタレン)
log Pow=3.3 (ICSC, 2005); BCF=168(Check & Review, Japan)
(1,3,5-トリメチルベンゼン)
log Pow=3.42 (ICSC, 2002); BCF=342(Check & Review, Japan)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
log Pow=3.8 (ICSC, 2002)
(1,2,3-トリメチルベンゼン)
log Pow=3.7 (ICSC, 2001)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

P273-環境への放出を避けること。
P501-内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1866
正式輸送名 :
樹脂液、引火性
分類または区分 : 3
容器等級 : III
指針番号: 127
特別規定番号 : 223

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1866
正式輸送名 :
樹脂液、引火性

分類または区分 : 3
容器等級 : III
特別規定番号 : 223; 955

IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 1866
正式輸送名 :
樹脂液、引火性
分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm.liquid
容器等級 : III
特別規定番号 : A3

環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

特別の安全対策
特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(X類)
1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,3-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; ナフタレン
有害液体物質(Y類)
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質
ナフタレン
水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質
高沸点芳香族ナフサ; ナフタレン
水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
高沸点芳香族ナフサ; ナフタレン

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法
特化則 特定化学物質 第2類 特定第2類
ナフタレン
有機則 第3種有機溶剤等
含有有機溶剤
高沸点芳香族ナフサ
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
高沸点芳香族ナフサ(別表第9の330); ナフタレン(別表第9の408)
名称通知危険/有害物
高沸点芳香族ナフサ(別表第9の330); ナフタレン(別表第9の408)

化学物質管理促進(PRTR)法

ハイ-キャスト 3040A エッチ・アンド・ケー株式会社

第1種指定化学物質

ナフタレン(1.5%);
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(8.0%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)
第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン(政令番号49 人健康影響/生態影響); ナフタレン(政令番号76 人健康影響/生態影響); 1,3,5-トリメチルベンゼン(政令番号201 人健康影響)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ナフタレン(中環審第9次答申の144)

適用法規情報

外国為替及び外国貿易法
輸出貿易管理令別表第1の第16項 キャッチオール規制対象製品

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
原料メーカーSDS

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和3年度(2021年度))です。